

特別会計 歳入歳出決算額

特別会計は、特定の事業をより円滑に進めるために、一般会計から分離して別に収支経理を行うもので、国の法律や市の条例によって設けることができる会計制度です。

会計名	歳入決算額	うち一般会計からの繰入金	歳出決算額	翌年度繰越財源	実質収支
国民健康保険事業	79億8,035万円	8億4,960万円	78億6,506万円	—	1億1,529万円
交通災害共済事業	5,412万円	—	1,226万円	—	4,186万円
介護保険事業	74億9,644万円	10億1,114万円	69億3,761万円	—	5億5,883万円
後期高齢者医療事業	13億8,574万円	2億8,658万円	12億8,059万円	—	1億515万円

※実質収支とは、歳入歳出決算の差引額から繰越事業に充てる財源を控除した実質的な翌年度への繰越額です。

健全化判断比率・資金不足比率

市の財政状況は、実質赤字比率などの4つの統一した指標で判断されます。これらの指標は財政の早期健全化や財政再生の必要性を判断するものであるとともに、他団体と比較することで財政状況を客観的に表すために用いられます。なお、行田市では全ての指標において早期健全化基準を下回っています。

○健全化判断比率

	R6 決算比率	早期健全化基準	備考
		財政再生基準	
実質赤字比率	—	12.58%	R4：—
		20.00%	R5：—
連結実質赤字比率	—	17.58%	R4：—
		30.00%	R5：—
実質公債費比率	2.3%	25.00%	R4：2.7%
		35.00%	R5：2.5%
将来負担比率	—	350.0%	R4：—
		—	R5：—

○資金不足比率

公営企業会計	R6 決算比率	経営健全化基準	備考
水道事業会計	—	20.00%	R4：— R5：—
公共下水道事業会計	—		

※資金不足額や剰余額は、一般会計などの実質収支額と合算して、連結実質赤字比率を算定します。

詳細の説明や用語の解説は市ホームページに掲載しています。

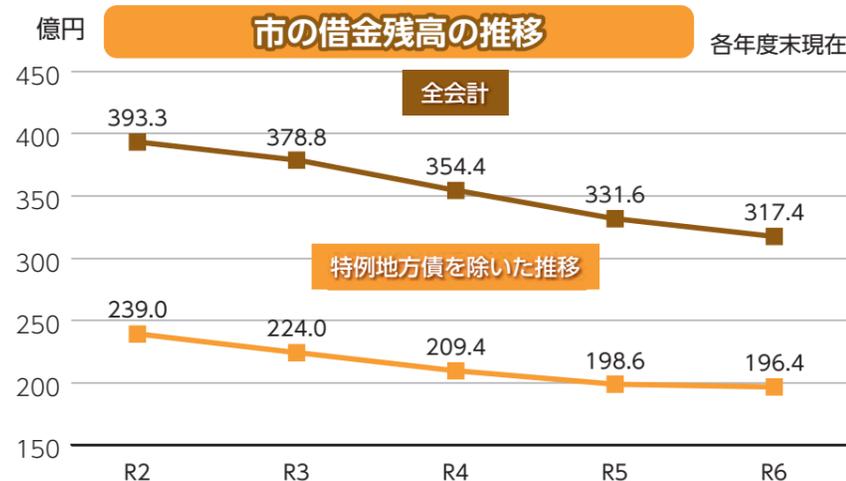


市ホームページ

行田市の借金の状況を公表します ～今の残高はどのくらい?～

市債は、道路や河川、公共施設の整備などを行うときに国や銀行などから長期にわたって借り入れるお金のことで、家計に例えると「借金」に当たります。また、市債には「特例地方債」という後年度の返済の際に全額または一定割合が交付税に上乗せされ、国から交付されるものもあります。

なお、令和6年度については、市債の返済額が新規発行額を上回ったため、市債残高は減少しています。



※全会計：一般会計、水道事業会計、公共下水道事業会計

▶問い合わせ

財政課(内線 325・326)

行田市の決算概要をお知らせします

令和6年度 決算報告

令和6年度の決算がまとまりました。

決算は、自治体の予算執行や財政運営を明らかにするものです。市民の皆さんからお預りしている大切な税金や国・県支出金などの収入がどのくらいあって、どのように使われたのかをお知らせします。

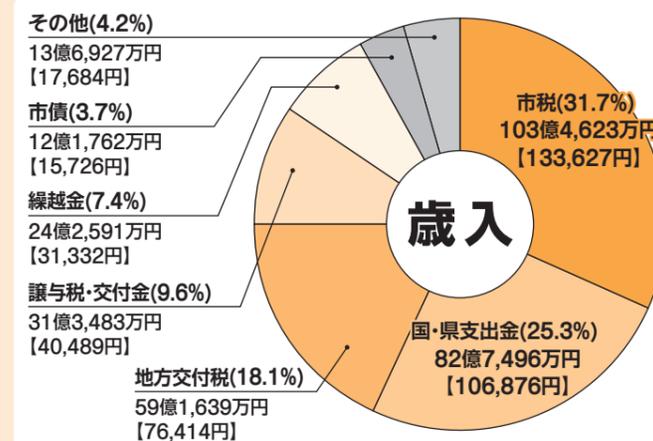
一般会計

令和6年度における歳入歳出差引額は約21億2,624万円の黒字となりました。

歳入では、定額減税の影響による個人市民税の減少などがあったものの、定額減税による減収を補填するための地方特例交付金や地方交付税の増加などにより、総額では前年度と比較して4億7,250万円増の326億8,521万円となりました。

歳出では、新型コロナウイルスワクチン接種事業の縮小などにより衛生費の減少があったものの、民生費において定額減税調整給付金給付事業を開始したことや、土木費において行田市駅跨線橋修繕工事負担金が増加したことなどにより、総額では前年度と比較して7億7,217万円増の305億5,897万円となりました。

歳入総額 326億8,521万円[422,148円] 前年度比4億7,250万円(1.5%)の増



市税

個人市民税の減収などにより、2億4,445万円の減少となりました。

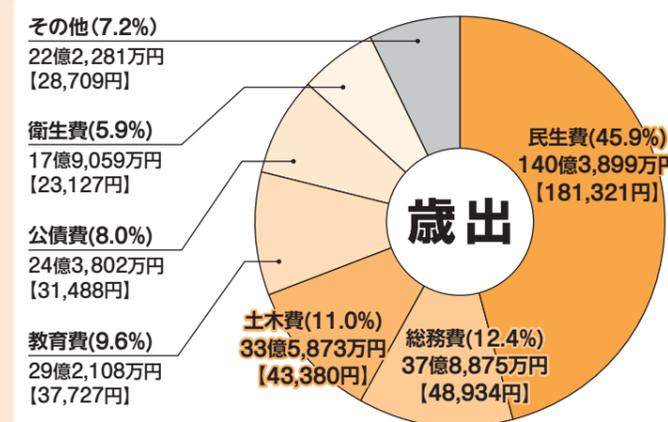
国・県支出金

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の増収などにより、9,227万円の増加となりました。

地方交付税

普通交付税の増収などにより、2億7,777万円の増加となりました。

歳出総額 305億5,897万円[394,686円] 前年度比7億7,217万円(2.6%)の増



民生費

定額減税調整給付金給付事業の増加などにより、9億6,793万円の増加となりました。

総務費

子ども未来基金積立金の減少などにより、3億2,686万円の減少となりました。

土木費

行田市駅跨線橋修繕工事負担金の増加などにより、5億6,270万円の増加となりました。

※グラフの【 】の数値は、市民1人当たりの額です。

歳入から歳出を引いた21億2,624万円は令和7年度に繰り越しました。

令和6年度決算の詳細や主な事業については市ホームページに掲載しています。



市ホームページ